

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 四国財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第44期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | アオイ電子株式会社 |
| 【英訳名】 | AOI ELECTRONICS CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 中山 康治 |
| 【本店の所在の場所】 | 香川県高松市香西南町455番地の1 |
| 【電話番号】 | 087(882)1131(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 木下 和洋 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 香川県高松市香西南町455番地の1 |
| 【電話番号】 | 087(882)1131(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 木下 和洋 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第43期 第2四半期連結 累計期間 | 第44期 第2四半期連結 累計期間 | 第43期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 13,454,638 | 14,151,287 | 25,992,110 |
| 経常利益(千円) | 1,105,331 | 1,222,583 | 1,754,746 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 619,128 | 672,214 | 1,051,544 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 567,518 | 567,525 | 1,100,133 |
| 純資産額(千円) | 26,018,573 | 26,878,703 | 26,431,191 |
| 総資産額(千円) | 35,710,319 | 36,286,026 | 36,041,134 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 51.59 | 56.02 | 87.63 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 72.86 | 74.07 | 73.34 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 1,748,441 | 1,618,748 | 4,633,419 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 2,846,926 | 588,347 | 3,496,424 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 1,625,721 | 465,585 | 1,289,528 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 7,657,394 | 10,020,754 | 9,551,904 |

| 回次 | 第43期 第2四半期連結 会計期間 | 第44期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 27.47 | 35.50 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第43期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災による落ち込みからの回復が見られたものの、欧米における景気後退や7月以降の円高の進行とともに景気の下振れが懸念される状況となりました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、震災の影響による一部の部品の供給不足や電力不足等から期初には生産活動に大きな落ち込みが見られたものの、サプライチェーンの機能回復とともに上昇基調となりました。しかしながら、期後半には、欧米の信用不安の拡大、円高の長期化により先行き不透明な状況となりました。

このような情勢の中で、当社グループは成長市場への拡販や合理化の取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は14,151百万円（前年同期比696百万円増、5.2%増）、営業利益は1,170百万円（前年同期比125百万円増、12.0%増）、経常利益は1,222百万円（前年同期比117百万円増、10.6%増）、四半期純利益は672百万円（前年同期比53百万円増、8.6%増）となりました。

当社グループの製品の種類別区分ごとの業績であります。集積回路は、主力となるICや光ピックアップ用受光素子などの光学関連センサー部品の受注に落ち込みがみられたものの、LEDの受注が堅調に推移したことから、売上高は11,936百万円（前年同期比1,065百万円増、9.8%増）となりました。機能部品につきましては、特定用途向けセンサーの受注は堅調に推移したものの、EFT（電子資金取引）・POS（販売時点管理）向けなどの小型サーマルプリントヘッドは低価格品への置き換えが進んだため、売上高は1,648百万円（前年同期比38百万円減、2.3%減）となりました。受動部品につきましては、ネットワーク抵抗器の生産終了やチップネットワーク抵抗器の受注の伸び悩みのため、売上高は516百万円（前年同期比279百万円減、35.1%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、10,020百万円（前年同四半期連結累計期間末残高7,657百万円）となり、前連結会計年度末と比較して468百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は1,618百万円（前年同期の増加した資金は1,748百万円）となりました。主な資金増加の要因は、税金等調整前四半期純利益1,194百万円、減価償却費1,106百万円、その他資産の減少額297百万円、仕入債務の増加額530百万円等であり、主な資金減少の要因は、売上債権の増加額637百万円、法人税の支払額873百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は588百万円（前年同期の減少した資金は2,846百万円）となりました。主な資金減少の要因は、有形固定資産の取得による支出596百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は465百万円（前年同期の増加した資金は1,625百万円）となりました。主な資金増加の要因は、短期借入金の借入による収入1,320百万円であり、主な資金減少の要因は長短期借入金の返済による支出1,665百万円、配当金の支払119百万円によるものであります。

(3) 業務上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、465百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産の部につきましては、第1四半期から引き続き売上が順調に推移したことによる売上債権の増加が、新工場への投資一巡と償却負担に伴う固定資産の減少を上回り、結果として前連結会計年度末比244百万円の増加となりました。負債の部につきましては、順調な売上に伴う生産量の拡大により、仕入債務が増加したものの、新工場をはじめとする設備投資の一巡による支払債務の減少や返済に伴う長期借入金の減少等がそれらを上回り、結果として前連結会計年度末比202百万円の減少となりました。これらの結果、純資産は、26,878百万円となり、前連結会計年度末比447百万円の増加となりましたが、一方で資産の部が増加したものの負債の部が減少したため、結果として自己資本比率は74.1%と0.8ポイントの増加となりました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,600,000 |
| 計 | 40,600,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 12,000,000 | 12,000,000 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 12,000,000 | 12,000,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|-------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 12,000 | - | 4,545,500 | - | 5,790,950 |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|------------------------------|-------------------|---------------|--------------------------------|
| 大西 通義 | 香川県高松市 | 3,562 | 29.69 |
| 大西 以知郎 | 香川県高松市 | 2,117 | 17.65 |
| アオイコーポレーション有限 会社 | 香川県高松市番町2-11-19 | 1,150 | 9.58 |
| 日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社 信託口 | 東京都中央区晴海1-8-11 | 888 | 7.40 |
| 大西 暁子 | 香川県高松市 | 359 | 2.99 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2-7-1 | 350 | 2.92 |
| 日本マスタートラスト信託銀 行株式会社 信託口 | 東京都港区浜松町2-11-13 | 253 | 2.12 |
| 日亜化学工業株式会社 | 徳島県阿南市上中町岡491-100 | 221 | 1.85 |
| アオイ電子従業員持株会 | 香川県高松市香西南町455-1 | 176 | 1.47 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都中央区晴海1-8-12 | 154 | 1.28 |
| 計 | - | 9,233 | 76.95 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 300 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 11,998,800 | 119,988 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 900 | - | - |
| 発行済株式総数 | 普通株式 12,000,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 119,988 | - |

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は 名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株 式数(株) | 他人名義所有株 式数(株) | 所有株式数の合 計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|----------------|---------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| アオイ電子株式会社 | 香川県高松市香西 南町455-1 | 300 | - | 300 | 0.00 |
| 計 | - | 300 | - | 300 | 0.00 |

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について監査法人ラットランドによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,551,904 | 10,020,754 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,504,630 | 8,141,776 |
| 商品及び製品 | 57,716 | 60,386 |
| 仕掛品 | 491,508 | 536,295 |
| 原材料及び貯蔵品 | 992,835 | 1,007,432 |
| 前払費用 | 38,273 | 62,354 |
| 繰延税金資産 | 299,089 | 293,648 |
| その他 | 442,460 | 184,564 |
| 流動資産合計 | 19,378,419 | 20,307,212 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 12,542,478 | 12,586,479 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 5,932,069 | 6,334,720 |
| 建物及び構築物(純額) | 6,610,408 | 6,251,758 |
| 機械装置及び運搬具 | 23,717,594 | 24,139,668 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 21,034,862 | 21,601,944 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,682,732 | 2,537,723 |
| 工具、器具及び備品 | 4,713,170 | 4,800,042 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 4,371,192 | 4,482,234 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 341,977 | 317,808 |
| 土地 | 2,926,463 | 2,926,463 |
| リース資産 | 262,951 | 232,997 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 131,663 | 99,165 |
| リース資産(純額) | 131,287 | 133,831 |
| 建設仮勘定 | 287,565 | 293,826 |
| 有形固定資産合計 | 12,980,435 | 12,461,412 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 65,745 | 61,049 |
| その他 | 119,056 | 100,877 |
| 無形固定資産合計 | 184,801 | 161,926 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,150,002 | 1,957,688 |
| 前払年金費用 | 550,181 | 494,358 |
| 繰延税金資産 | 354,887 | 478,213 |
| その他 | 442,407 | 425,214 |
| 投資その他の資産合計 | 3,497,478 | 3,355,474 |
| 固定資産合計 | 16,662,714 | 15,978,813 |
| 資産合計 | 36,041,134 | 36,286,026 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,659,778 | 3,190,166 |
| 短期借入金 | 1,190,000 | 1,190,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 667,772 | 644,400 |
| 未払金 | 1,350,498 | 1,120,459 |
| 未払法人税等 | 906,951 | 600,255 |
| 賞与引当金 | 396,202 | 430,553 |
| リース債務 | 43,746 | 44,870 |
| その他 | 636,065 | 751,629 |
| 流動負債合計 | 7,851,016 | 7,972,333 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 300,000 | 300,000 |
| 長期借入金 | 933,400 | 611,200 |
| 役員退職慰労引当金 | 436,767 | 433,608 |
| リース債務 | 87,540 | 88,961 |
| その他 | 1,218 | 1,218 |
| 固定負債合計 | 1,758,926 | 1,434,988 |
| 負債合計 | 9,609,943 | 9,407,322 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,545,500 | 4,545,500 |
| 資本剰余金 | 5,790,950 | 5,790,950 |
| 利益剰余金 | 16,080,319 | 16,632,537 |
| 自己株式 | 426 | 442 |
| 株主資本合計 | 26,416,342 | 26,968,544 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,848 | 89,840 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,848 | 89,840 |
| 純資産合計 | 26,431,191 | 26,878,703 |
| 負債純資産合計 | 36,041,134 | 36,286,026 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 13,454,638 | 14,151,287 |
| 売上原価 | 11,048,474 | 11,700,172 |
| 売上総利益 | 2,406,164 | 2,451,115 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,361,243 | 1,281,075 |
| 営業利益 | 1,044,921 | 1,170,039 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 916 | 586 |
| 受取配当金 | 2,436 | 2,228 |
| 作業屑売却益 | 50,617 | 48,023 |
| 受取技術料 | 62,710 | 84,729 |
| 持分法による投資利益 | 12,511 | 20,247 |
| その他 | 34,425 | 29,214 |
| 営業外収益合計 | 163,617 | 185,029 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,731 | 16,919 |
| 為替差損 | 43,722 | 96,822 |
| その他 | 48,753 | 18,744 |
| 営業外費用合計 | 103,207 | 132,485 |
| 経常利益 | 1,105,331 | 1,222,583 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,138 | 331 |
| 特別利益合計 | 1,138 | 331 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 280 | 2,539 |
| 投資有価証券評価損 | 7,117 | 26,251 |
| 特別損失合計 | 7,398 | 28,791 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,099,072 | 1,194,124 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 541,104 | 568,712 |
| 法人税等調整額 | 61,160 | 46,803 |
| 法人税等合計 | 479,944 | 521,909 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 619,128 | 672,214 |
| 四半期純利益 | 619,128 | 672,214 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 619,128 | 672,214 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 51,609 | 104,688 |
| その他の包括利益合計 | 51,609 | 104,688 |
| 四半期包括利益 | 567,518 | 567,525 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 567,518 | 567,525 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,099,072 | 1,194,124 |
| 減価償却費 | 1,063,791 | 1,106,714 |
| その他の償却額 | 24,690 | 24,160 |
| のれん償却額 | 4,696 | 4,696 |
| 固定資産除却損 | 280 | 2,539 |
| 固定資産売却損益(は益) | 1,138 | 331 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 50,377 | 34,351 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | - | 3,159 |
| 受取利息及び受取配当金 | 3,352 | 2,815 |
| 支払利息 | 10,731 | 16,919 |
| 為替差損益(は益) | 32,584 | 95,965 |
| 保険解約損益(は益) | 1,196 | 3,758 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 7,117 | 26,251 |
| 持分法による投資損益(は益) | 12,511 | 20,247 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 856,086 | 637,145 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 221,927 | 64,252 |
| その他の資産の増減額(は増加) | 28,492 | 297,946 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 419,761 | 530,387 |
| その他の負債の増減額(は減少) | 201,129 | 103,198 |
| 小計 | 1,791,919 | 2,506,664 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,551 | 2,394 |
| 利息の支払額 | 12,275 | 16,812 |
| 法人税等の支払額又は還付額(は支払) | 33,754 | 873,498 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,748,441 | 1,618,748 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,826,187 | 596,355 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 10,802 | 10,062 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,600 | 555 |
| 保険積立金の解約による収入 | 11,146 | 37,323 |
| 差入保証金の回収による収入 | - | 452 |
| その他の支出 | 22,682 | 20,260 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,846,926 | 588,347 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | - | 1,320,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | - | 1,320,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,900,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 153,996 | 345,572 |
| 社債の発行による収入 | 300,000 | - |
| 社債の償還による支出 | 300,000 | - |
| 自己株式の取得による支出 | 283 | 16 |
| 配当金の支払額 | 119,999 | 119,996 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,625,721 | 465,585 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 32,584 | 95,965 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 494,652 | 468,850 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,162,742 | 9,551,904 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,657,394 | 10,020,754 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|--|--|
| 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 運賃諸掛 48,822千円 役員給与 129,194 従業員給与手当 158,989 賞与引当金繰入額 47,755 研究開発費 531,297 減価償却費 60,420 電算処理費 64,529 | 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 運賃諸掛 41,442千円 役員給与 131,330 従業員給与手当 173,078 賞与引当金繰入額 42,353 研究開発費 465,897 減価償却費 41,043 電算処理費 61,623 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円) 現金及び預金勘定 7,657,394 現金及び現金同等物 7,657,394 | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円) 現金及び預金勘定 10,020,754 現金及び現金同等物 10,020,754 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 119,999 | 10 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 119,996 | 10 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月3日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 119,996 | 10 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 119,996 | 10 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月2日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、電気・電子部品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであり、当社グループ全体で包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。よって、セグメント情報の記載は省略しております。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成23年3月31日)

| 科目 | 連結貸借対照表 計上額(千円) | 時価(千円) | 差額(千円) |
|----------------------|--------------------|-----------|--------|
| 長期借入金(1年内返済予定のものを含む) | 1,601,172 | 1,586,242 | 14,929 |

(注) 金融商品の時価の算定方法

長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

長期借入金が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

| 科目 | 四半期連結貸借対照表 計上額(千円) | 時価(千円) | 差額(千円) |
|----------------------|-----------------------|-----------|--------|
| 長期借入金(1年内返済予定のものを含む) | 1,255,600 | 1,248,551 | 7,049 |

(注) 金融商品の時価の算定方法

長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 51円59銭 | 56円2銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 619,128 | 672,214 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 619,128 | 672,214 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 11,999 | 11,999 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....119百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月2日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

アオイ電子株式会社
取締役会 御中

監査法人 ラットランド

指定社員 公認会計士 長谷川 正治 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 小野 泰 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアオイ電子株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アオイ電子株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年11月10日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月20日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。